

QST 病院にて造影剤を使用した肝臓の MRI 検査を受けた方へ

量子科学技術研究開発機構では、以下の研究を実施しています。この研究の詳細について詳しくお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく個人情報の開示・利用停止等の手続きを希望される場合には、下欄の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

【研究の名称】 mDixon 法を用いた肝機能評価が MRI 検査効率向上に寄与する可能性の検討		
①	試料・情報の利用目的及び利用方法	●研究の目的 造影剤を使用した肝臓の MRI 検査では、造影剤の効果を適切に画像へ反映させるため、患者さん毎に撮影タイミングを調整しながら検査を行う必要があります。また、肝臓の MRI 検査では、造影剤を使うかどうかに関係なく様々な種類の画像を取得しますが、その中で検査序盤に mDixon 法という撮影法を使った画像を取得しています。この画像に含まれる情報によって肝臓の脂肪や鉄沈着に関する情報を知ることができるため、肝臓の状態を調べるために役立てています。 この研究では、mDixon 法の画像と造影剤を使用した肝臓の MRI 画像との関連性を調べます。mDixon 法の画像に含まれる情報から適切な撮影タイミングの調整ができれば、造影剤を使用した肝臓の MRI 検査がより効率よく実施できるようになり、検査効率の向上につながることが期待されます。 本研究の目的は、mDixon 法の画像に含まれる情報が、造影剤を使用した肝臓の MRI 検査において適切な撮影タイミングの調整や検査効率の向上に役立つかを評価することです。 ●研究の対象 QST 病院で 2025 年 4 月 1 日より 2026 年 7 月 31 日までの間に肝臓に対する造影 MRI 検査を行った方を対象といたします。 ●利用方法 本研究では、QST 病院の患者データベース、電子カルテシステム、PACS システムより②の情報を収集します。収集した情報は、お名前などの個人を直接認識できる情報を削除し、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないような加工を行った上で収集し、パスワード管理されたファイル形式で保管・管理されます。 この研究は QST 病院においてのみ実施されるものであり、情報を他機関に提供することはありません。 この研究のために新たな検査や質問を行うことはありません。

		この研究の結果は、学会や学術雑誌で公表されますが、その際も患者さんを特定できる情報が表に出ることはありません。 また、提供された情報は、保存期間終了まで適切に保存されます。ただし、保存を希望されない場合を除き、将来ほかの研究に役立てるため保存期間終了以降も保存することがあります。その場合は、ルールに従って、必要な確認や手続きを行い、専門の委員会で審査を受けたうえで進めます。
②	利用する試料・情報の項目	当院で実施された mDixon 法を含む肝臓造影 MRI 検査の画像データ、MRI 検査日直近の臨床データ（性別、年齢、身長、体重、既往歴、採血検査結果）
③	利用を開始する予定日及び研究期間	研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日
④	利用する者の範囲	量子科学技術研究開発機構 QST 病院 研究責任者：土屋 洋貴
⑤	試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST 病院
⑥	研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止する旨	本研究の研究対象者に該当する可能性のある方（又はその代理人の方）で、情報を研究目的に利用又は提供されたくない場合、2026 年 12 月 31 日までに下記⑦の問い合わせ窓口までご連絡下さい。 申し出はいつでも受け付けますが、期限を過ぎ、既に個人情報と切り離され解析に使用されてしまった場合にはデータを取り除けない場合があります。その場合であっても、研究対象者の個人を特定できる情報が公表されることはありません。
⑦	研究対象者等の求めを受け付ける方法(問い合わせ窓口)	この研究についてご不明な点やご質問がある場合、ご自身の診療情報等の利用に関するお問い合わせがある場合、または研究への利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。 ●量子科学技術研究開発機構 QST 病院 電話番号：043-206-3306（平日 8:30～17:00） 医療技術部診療放射線技術課 土屋 洋貴 E メールアドレス：tsuchiya.hiroki@qst.go.jp